

民生文教常任委員会報告書

令和元年12月13日第4回定例会における議決に基づき、当委員会の所管について調査した結果を下記のとおり報告する。

令和 2 年 2 月 2 8 日

七飯町議会議長 木 下 敏 様

民生文教常任委員会
委員長 坂 本 繁

記

【所管事務調査事項】

リサイクルセンターの現状と課題について

令和2年1月9日、21日、31日の3日間、委員会を開催し、民生部長、環境生活課長の出席を求め、提出資料に基づいた説明を聴取し、現地調査を行うとともに、各委員から報告書に記載する意見の聴取を行った。

また、2月21日に委員会を開催し、報告書に記載する内容の確認を行う予定であったが、町内で新型コロナウイルスの感染者が発生したことにより、委員会の開催を中止し、各委員申し送りにより報告書の確認を行った。

1 調査の目的

リサイクルセンターの現状を把握するとともに、今後の課題について検討するため、調査を行った。

2 調査の方法

リサイクルセンターの概要に関する資料、リサイクルセンターでの作業工程マニュアル、平成25年度以降の再生利用物の売払状況等の資料の提出を求め、民生部長及び環境生活課長への聴取及び現地調査を行った。

3 リサイクルセンター現状と課題について

(1) リサイクルセンターの概要について

リサイクルセンターは、平成8年9月に缶・ビン棟、平成9年11月にペットボトル棟、平成12年6月にプラスチック棟が建設されている。施設においては、収集した資源ごみを搬入しており、選別、圧縮、保管したのちに缶、紙類及びリターナブルびんは町内の廃品回収業者へ売却し、ワンウェイびん、ペットボトル及びプラスチック類は指定法人に引き渡している。

リサイクルセンターの管理業務は、委託契約によるもので、管理期間は平成30年度から令和2年度までの3箇年の長期継続契約となっている。町は、委託契約に基づき、受託者が委託業務の処理上、必要なものは貸与している。

リサイクルセンターの施設の概要、業務委託に当たっての町からの貸与品の一覧については、次の表のとおりである。

■ リサイクルセンターの施設の概要

1. 施設の状況	
施設名称	七飯町リサイクルセンター
事業主体	七飯町
所在地	亀田郡七飯町字峠下 523
延べ床面積	管理棟面積：68.04 m ² 資源ストックヤード面積：471.44 m ² （3棟計） （缶・びん棟：90.72 m ² （缶：45.36 m ² 、びん：45.36 m ² ）、 ペットボトル棟（びん保管含む。）：198.72 m ² 、 その他プラスチック棟：182 m ² ）
処理対象物	缶・びん・ペットボトル、紙類、プラスチック類
2. 機材の状況	
稼働年月	缶・びん：平成8年9月 ペットボトル：平成9年11月 その他プラスチック、発泡スチロール：平成12年6月
処理能力	缶：プレス設備 400 kg/h、ペットボトル：圧縮機 100 kg/h その他プラスチック：圧縮機 200 kg/h、発泡：減容機 30～40 kg/h
3. 人員体制等	
人員体制	統括責任者：1名、統括補佐：2名、作業主任：2名、作業員：5名 合計 10名
勤務時間	土曜・日曜及び年末年始（12/31～1/3）を除く毎日 8:30～17:15

■町から貸与する備品

種別	名称	仕様	数量	購入年月日	備考
1	空き缶磁選式プレス機	大富精機 AS-200BS-V 型	1 台	H8. 9. 1	
1	ペットボトル減容機	油研工業 YB-10P-PA10	1 台	H8. 9. 1	
1	暖房用石油ストーブ	トヨトミ KF-191	4 台	H8. 9. 1	
1	草刈機	ゼノア BC4410EZ	2 台	H8. 9. 1	
1	工具セット	トネ TSA4331	1 台	H8. 9. 1	
1	エアーコンプレッサー		2 台	H8. 9. 1	
1	プラスチック減容機	油研工業 YB-32M-A-12	1 台	H12. 4. 20	
1	発泡減容機	シグマ機器 JSP-301BC	1 台	H14. 10. 24	
1	水中ポンプ	テラダ SA-150	1 台	H23. 10. 20	
1	チェーン吊り具		1 台	H24. 8. 22	
1	パレット		6 枚	H24. 8. 22	
1	自動はかり	D-50	1 台	H24. 10. 19	
1	上皿はかり	SD30	2 台	H24. 10. 19	
1	自動はかり	D-50	1 台	H25. 4. 16	
1	台車	ユニット 830-831	1 台	H28. 4. 2	
1	台車	ND-906-2	1 台	H28. 4. 20	
1	ペットボトルキャップ外し機	とるぞうくん	2 台	H28. 5. 15	
1	洗濯機	ナショナル NA-F60B9-N	1 台	H28. 6. 12	
1	草刈機	ゼノア BCZ275G	1 台	H30. 5. 25	
2	ホイールローダー	コマツ WA-100-3	1 台	H8. 9. 1	函 00 や 856
2	ダンプトラック	いすゞ	1 台	H23. 9. 20	函館 400 す 6263
3	事務用デスク		2 台	H8. 9. 1	
3	事務用いす		2 台	H8. 9. 1	
3	事務用デスク脇デスク		1 台	H8. 9. 1	
3	手提金庫	CBY4	1 台	H8. 9. 1	
3	書類整理庫		2 台	H8. 9. 1	
3	給湯器	PH-16	1 台	H8. 9. 1	
3	月間予定表		1 台	H8. 9. 1	
3	コピー機	ゼロックス	1 台	H24. 7. 24	
3	電話機	パナソニック	1 台	H24. 9. 28	

種別 1=工具、2=車両、3=事務機器

リサイクルセンターの施設は、旧じん芥処理場の敷地内に建設した施設に機械を導入して作業を行っているが、それぞれの建物が建設から20年前後経過していることから、施設の老朽化やリサイクル量の増加により狭隘な環境となっている。平成25年度以降は、人身事故が発生していないものの、過去には人身事故も発生していることから、作業環境の改善が求められるところである。

平成25年度以降のリサイクルセンターの修繕状況は、次表のとおりである。

■ 空缶・空き瓶の資源ごみストックヤード（平成8年9月建設）

年度	内容	金額（円）	業者
H29	右側シャッター交換支柱補強含む	274,320	順工務店
H30	左側シャッター交換支柱補強含む	361,800	アズマ住宅サービス
H30	照明器具取替	62,640	松田電設

■ ペットボトルの資源ごみストックヤード（平成9年11月建設）

年度	内容	金額（円）	業者
H26	裏窓ガラス修繕	9,720	高谷ガラス
H26	裏雪防止枠修繕	34,500	山崎鉄工所
H27	左側シャッターフレーム修繕	6,480	山崎鉄工所
H27	右側シャッターフレーム修繕	21,600	山崎鉄工所
H27	右側シャッター交換	66,960	順工務店
H28	左側シャッター交換	329,400	順工務店
H29	コンセント配線修繕	99,792	松田電設
H30	照明器具取替	93,420	松田電設
H30	外灯器具取替	58,320	松田電設

■ プラスチックの資源ごみストックヤード（平成12年6月建設）

年度	内容	金額（円）	業者
H25	シャッター修繕	91,980	順工務店
H26	窓ガラス修繕	19,440	高谷ガラス
H27	電気回路修繕	29,268	はたざわ電装
H29	コンセント配線修繕	99,360	松田電設
H29	窓ガラスガード修繕2枚	32,400	山崎鉄工所
H30	北側部分柱・梁・壁の補修	492,480	アズマ住宅サービス
H30	照明器具取替	55,080	松田電設

(2) 再生利用物の売払状況について

再生利用物の売払については、市場価格によって売払単価の変動はあるが、毎年入札によって売払を行っている。平成25年度以降の再生利用物の売払状況は、次表のとおりである。

		新聞	雑誌	ダンボール	紙パック	スチール缶	アルミ缶	空き瓶
H25	重量(kg)	83,155	53,560	63,060	875	44,700	40,080	8,153
	金額(円)	611,184	281,185	463,491	8,263	1,056,035	4,629,240	34,238
	単価(円/kg)	7.3	5.2	7.4	9.4	23.6	115.5	4.2
H26	重量(kg)	75,730	50,845	57,680	790	40,920	39,800	7,217
	金額(円)	572,513	274,563	498,350	7,676	1,016,450	5,630,900	31,172
	単価(円/kg)	7.6	5.4	8.6	9.7	24.8	141.5	4.3
H27	重量(kg)	70,830	50,600	52,680	655	28,050	42,400	6,727
	金額(円)	611,965	273,240	398,257	6,365	454,410	6,639,840	29,056
	単価(円/kg)	8.6	5.4	7.6	9.7	16.2	156.6	4.3
H28	重量(kg)	69,540	46,015	54,080	670	28,260	43,800	7,162
	金額(円)	600,821	223,627	408,840	6,511	366,245	4,399,269	23,198
	単価(円/kg)	8.6	4.9	7.6	9.7	13.0	100.4	3.2
H29	重量(kg)	63,110	46,305	64,240	655	27,260	47,260	11,244
	金額(円)	681,588	350,061	485,648	6,365	588,816	6,124,896	36,426
	単価(円/kg)	10.8	7.6	7.6	9.7	21.6	129.6	3.2
H30	重量(kg)	64,070	49,370	68,140	580	28,360	43,420	11,291
	金額(円)	691,956	373,233	515,133	5,636	704,459	6,096,168	36,578
	単価(円/kg)	10.8	7.6	7.6	9.7	24.8	140.4	3.2

		金属くず	廃家電	自転車	発泡スチロール	衣類	小型家電	合計
H25	重量(kg)	12,940	9,400	4,740	4,122	2,161		326,946
	金額(円)	135,870	49,350	24,885	8,657	3,265		7,305,663
	単価(円/kg)	10.5	5.3	5.3	2.1	1.5		
H26	重量(kg)	18,720	15,760	4,760	2,677	2,970		317,869
	金額(円)	202,176	85,104	25,704	5,782	2,970		8,353,360
	単価(円/kg)	10.8	5.4	5.4	2.2	1.0		

H27	重量(kg)	11,960	16,520	4,360	2,925	3,730	735	292,172
	金額(円)	6,458	1,784	1,412	37,914	3,730	790	8,465,221
	単価(円/kg)	0.5	0.1	0.3	13.0	1.0	1.1	
H28	重量(kg)	11,700	11,020	2,740	2,919	3,266	2,288	283,460
	金額(円)	10,108	2,380	1,479	18,915	3,266	2,465	6,067,124
	単価(円/kg)	0.9	0.2	0.5	6.5	1.0	1.1	
H29	重量(kg)	70,378	16,840	4,800		3,069	2,600	357,761
	金額(円)	181,170	18,187	10,368		3,069	2,803	8,489,397
	単価(円/kg)	2.6	1.1	2.2		1.0	1.1	
H30	重量(kg)	25,860	17,800	4,820		3,672	1,196	318,579
	金額(円)	167,572	15,379	10,411		3,672	1,289	8,621,486
	単価(円/kg)	6.5	0.9	2.2		1.0	1.1	

※小型家電は平成27年10月から開始。

※発泡スチロールは平成29年以降単価下落により出荷せず保管している。

(3) リサイクルセンターの今後の課題について

設備の老朽化が進み、廃棄物の種類ごとに建物が散在していることに加え、建物自体が狭隘であることから、作業環境的にも改善が必要となっている。また、十分な分別が行われていないごみもあり、これらが作業効率を低下させる要因の一つであると考えられる。

町は、旧ごみ焼却施設の解体撤去後の跡地を利用して整備することを検討（平成31年3月改訂七飯町一般廃棄物処理基本計画に記載）しているが、現在の限られた立地条件や財政状況等の課題が山積している。当面の間は、特に老朽化している機材を年次計画で更新することで、既存施設の長寿命化を図ることとしている。

委員からは、現施設の作業環境や作業動線についての質疑があり、町としては、狭隘な場所で作業を行っている環境であり、搬出する資源をストックする場所もないことから、現状を把握しながら効率化を図るとともに、現場からの意見も踏まえながら、目に見える形で少しずつ環境改善に向けて進めていきたいとの回答であった。

4 まとめ

リサイクルセンターについて調査を行ったところ、建物自体が狭隘で老朽化していることから、作業環境は決して好ましい状況ではない。当委員会においては、

平成24年に当該施設に対する調査を行っており、前回の調査から7年を経過したところであるが、作業環境の改善という課題はいまだに解決できていない。

町としては、当面の間は、特に老朽化している機材を年次計画で更新することで、既存施設の長寿命化を図ることとしているが、建物の老朽化や廃棄物の種類ごとに建物が散在している状況を踏まえると、作業環境や作業動線の観点からも抜本的な改善策が必要である。

このことから、作業環境の改善に向け、現場との連携を密にしながら、施設の改築や増築などの改善策を講じることを望むとともに、作業の効率化に向けてごみの減量化や分別の徹底を図るための啓発等も十分に行われることを望み、委員会報告とする。